



2023年5月15日

各位

上場会社名 株式会社共立メンテナンス
代表者 代表取締役社長 中村 幸治
(コード番号 9616)
問合せ先 常務取締役 高久 学
(TEL 03-5295-7778)

新中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、2024年3月期を初年度とする5か年の新たな中期経営計画「KYORITSU Growth Vision / Rise Up Plan 2028」(以下「本計画」と言う。)を策定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 本計画策定の背景

前中期経営計画である「Kyoritsu Jump Up Plan(2017年4月～2022年3月)」(以下「前計画」と言う。)においては、「顧客満足度の向上」と「開発の先行的実施」を掲げ、2022年3月期に売上高2,200億円、営業利益190億円を目標に実行してまいりました。当初2年間は定量目標を超過し順調に推移しておりましたが、2020年に発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)が全世界で猛威を振るい、やむなく同年11月に前計画を取り下げました。一方で、前計画における開業計画は1年遅れながらも着実に実行し、当初の計画を上回って開業することができました。

昨今の当社を取り巻く経営環境に目を向けますと、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による人流抑制政策も解除され、国内旅行者数や訪日外国人数が順調に回復するなど、明るい兆しもありますが、一方でロシアウクライナ問題の長期化のように世界情勢の不確実性が高まっている他、我が国においてはエネルギーコストや建築費高騰、また労働力不足等の問題が深刻化しており、事業環境の先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような中、「100年企業」を標榜する当社が持続的な成長を実現するためには、これまで培った強みを承継しつつ、マーケットの拡大を図り、将来の環境変化にも打ち勝つ強固な事業基盤を構築する必要があるとの認識のもと、本計画は、長期ビジョンとして「3&3&3(トリプルスリー、2030年、売上高3,000億円、営業利益300億円)」を見据え、「コロナからの回復、そして再成長へ」と「顧客満足度の更なる追求とエリアの拡大」を骨子として策定しました。

2. 本計画の骨子

(1)「コロナからの回復、そして再成長へ」

まずはマーケットの回復に伴い早期にコロナ前水準へ業績を回復させ、再成長に向け変化するマーケットにいち早く対応できる盤石な基盤を構築すべく、サステナビリティ戦略に加え、人財戦略やDX戦略に取り組み、更なる成長を図ってまいります。

(2)「顧客満足度の更なる追求とエリアの拡大」

当社の経営理念である「顧客第一」を更に追求すべく、顧客満足度の向上に繋がる商品・サービスを創造しつつ、寮事業では地方国公立大学様至近エリアへの出店、ドリーミン事業では和風タイプの「野乃シリーズ」やロードサイド型をはじめとした「ドリーミン EXPRESS」、リゾート事業では個性ある新たな旅館に加え、眺望のよい立地に面した「LA VISTA」の出店など、新たなエリアへの出店を進めてまいります。

3. 定量目標

(1)業績計画(2028年3月期)

項目	指標
売上高	2,800 億円
営業利益	280 億円
ネット D/E レシオ	1.0 倍以下
配当性向	20 %以上
ROE	10 %

(2)投資計画(2023年4月～2028年3月計)

種類	金額
開発投資	1,700 億円
大規模修繕	200 億円
DX 投資	100 億円
計	2,000 億円

4. サステナビリティ推進

社会課題の解決と当社が持続的に成長するためのマテリアリティ(重要課題)を以下の通り特定して取り組んでまいります。

環境(Environment)	・温室効果ガスの削減 ・使い捨てプラスチックの削減 ・水資源の有効な活用
社会(Social)	<人材>・新たな雇用の創出 ・多様な人材の活躍 ・人材への投資 ・学びの機会の提供 <食>・食の安心安全 ・食品廃棄物の削減 ・健康志向
ガバナンス(Governance)	・ガバナンスの強化

本計画の詳細につきましては、2023年5月26日開催の2023年3月期決算説明会において説明を行う予定です。なお、資料は説明会開始時刻を目処にウェブサイトに掲載予定です。

本計画は現時点において入手可能な情報に基づいて策定したものであり、実際の業績等は今後発生する様々な要因によって記載内容と異なる可能性があります。

以上